

令和 7 年度 (学び続ける教師を応援する) しまだい学校教員研修 募集要項

〇はじめに

大きな変化が進行する現代社会の中で、教師には変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学び続けていくことという主体的な姿勢が求められています。そのためには、一人一人の教師が求める学びの機会を充実し、それぞれの教師の学びを豊かにすることが必要です。そこで、島根大学では教員免許更新制のもとで培ったノウハウを活かし、大学の良質なコンテンツを広く教育関係者の皆様に提供できるよう、教員免許状更新講習を刷新し「(学び続ける教師を応援する)しまだい学校教員研修」を開講します。

なお、本研修は4つの形態(①対面研修、②対面研修またはオンライン研修を受講者が選択できるハイフレックス形式の研修、③非対面のオンデマンド研修、④Zoomによる研修)のいずれかで実施します。

「しまだい学校教員研修」に関する情報は、[島根大学教育学部附属教師教育研究センター](#)（以下、[教師教育研究センター](#)）のホームページで随時お知らせします。各自で定期的に確認してください。

島根大学教育学部 附属教師教育研究センター「しまだい学校教員研修」ホームページ

<https://crte.shimane-u.ac.jp/gakkou-kensyu/index.html>

本募集要項には、

「しまだい学校教員研修」について、予約から受講完了までの概要を掲載しています。

「しまだい学校教員研修」に関するお問合せ・ご連絡は下記までお願いします。

島根大学教育学部 附属教師教育研究センター

WEB : <https://crte.shimane-u.ac.jp/>

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL : 0852-32-6495 FAX : 0852-32-9869

* 学校教員研修担当 平日 9 : 00 ~ 17 : 00 *

E-Mail : crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp

○ 目次

1. 受講対象者及び申込期間	2 ページ
2. 講座の確認・選択	2 ページ
3. 受講の流れ	6 ページ
4. 申込み（フォーム）	7 ページ
5. 受講料	8 ページ
6. 受講のキャンセル	8 ページ
7. 合理的配慮を必要とする方の受講	9 ページ
8. 受講者の個人情報について	9 ページ
9. 研修に向けての準備及び受講後について	9 ページ
10. 研修の中止	14 ページ
11. 受講証明書の交付	14 ページ
会場案内（対面式の講座を受講する場合）	15 ページ

1. 受講対象者及び申込期間

（1）受講対象者

全国の教育関係者

- ・教員免許状を所持している方（現在教職に就いていない方を含む）
- ・教員免許を取得しようとする学生
- ・教育委員会関係者等
- ・高校魅力化コーディネーター等の広く山陰地域の学校教育に携わる方

※能力開発研修（島根県）・専門研修（鳥取県）として受講される場合は、それぞれの県の教育センターにお申し込みください。

（2）申込期間

2. 講座の確認・選択の「しまだい学校教員研修」講座一覧を参照してください。

2. 講座の確認・選択

島根大学が開催する講座の詳細については、教師教育研究センターのホームページの左側にある「しまだい学校教員研修」のタブに入り、そのページの左側にある Menu「講座一覧・シラバス」から入り、申込期間も併せて、本年度開設の講座を確認してください。その上で、受講する講座を選択してください。

研修は4つの形態 ①対面研修、②ハイフレックス形式の研修（対面研修またはオンライン研修（YouTube Live 視聴）のどちらかを選択）、③オンデマンド研修（YouTube 視聴）、④Zoom による研修のいずれかで実施します。

対面研修の場合、山陰教員研修センターで実施します。

（※一部、鳥取県教育センター等の別会場で実施する講座があります。）

また、YouTube 視聴、YouTube Live 視聴、Zoom で研修が実施される場合は、教師教育研究センターのホームページから URL 等入手してご視聴・ご参加いただきます。

「しまだい学校教員研修」講座一覧（簡易版）

以下、文部科学省が定める「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針に基づく教師に共通的に求められる資質」の5つの指標（○教職に必要な素養に主として関するもの、○学習指導に主として関するもの、○生徒指導に主として関するもの、○特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に主として関するもの、○ICT や情報・教育データの利活用主として関するもの）に従って、講座を分類しています。

また、島根大学（しまだい学校教員研修）においても、4つのプログラム指標（○学校創造（学校経営）、○授業デザイン、○子ども支援、○山陰の教育魅力化）を設定することで研修の体系化を図っていますので、受講の参考にしてください。

※反復開講：会場・期日を変えて同じ内容の講座を実施します。

会場の記載のない講座は、山陰教員研修センターが会場です。

○教職に必要な素養に主として関するもの

講座番号	申込期間	開講日	研修時刻	講座名	担当講師	実施形態	時間	定員	受講料(円)	プログラム指標(しまだい)
1	～6月 8日(日)	(オンデマンド+) 7月25日(金)	9:00～16:15	共生を実現する学校について考える ～多様性の尊重と凝集性(まとまり)の両立を目指して～	津多 成輔 齋藤 英明	オンデマンド+ 対面	8	25	4,000	子ども支援
2	～6月15日(日)	7月28日(月)	9:00～16:15	教師の働き方改革 ～研究と現場との交流を通して考える～	上地 香杜	ハイフレックス	6	30	3,000	学校創造
3	～6月22日(日)	8月 4日(月) 午後	12:50～16:45	教師の多様性を活かすための 学校の変革とリーダーの役割	熊丸真太郎	Zoom	3.5	30	1,750	学校創造
4	～6月22日(日)	8月 6日(水)	9:00～16:15	ファシリテーターとしての教師 ～理論と実践～	梅津 静子	ハイフレックス	6	30	3,000	授業デザイン
5	～7月 6日(日)	8月18日(月) 午後	13:30～16:45	働き方改革を考える	木下 公明	対面	3	30	1,500	学校創造 子ども支援
6	～7月 6日(日)	8月22日(金) 午前	9:00～12:15	「宇宙」を素材とした インクルーシブな探究活動	香川奈緒美	対面	3	30	1,500	学校創造
7	～7月 6日(日)	8月22日(金) 午後	13:30～16:45	学校の組織マネジメントと危機管理	小早川倫美	対面	3	30	1,500	学校創造
8	～7月13日(日)	8月25日(月)	9:00～16:15	これからの幼児教育に必要なことから	太田 泉 川上 洋子	ハイフレックス	6	20	3,000	授業デザイン
9	～8月24日(日)	10月 6日(月) 午前	8:30～12:25	教室空間におけるインクルージョン	羽田野真帆	Zoom	3.5	30	1,750	学校創造 子ども支援
10	～8月24日(日)	10月 6日(月) 午後	12:50～16:45	学校教育における「多文化共生」	坂口 真康	Zoom	3.5	30	1,750	学校創造 子ども支援

○学習指導に主として関するもの

講座番号	申込期間	開講日	研修時刻	講座名	担当講師	実施形態	時間	定員	受講料(円)	プログラム指標(しまだい)
11	～5月11日(日)	6月24日(火)午後	13:30～16:45	基礎からじっくり楽曲分析演習 ～教材研究の深化を目指して～	河添 達也	対面	3	15	1,500	授業デザイン
12	～5月11日(日)	6月26日(木)午後	13:30～16:45	総合的な学習・探究の時間の開発	中村 怜詞	ハイフレックス	3	30	1,500	山陰の教育魅力化
13	～6月22日(日)	8月 5日(火)	9:00～16:15	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践 ※会場:鳥取県教育センター (反復開講:⑨と同じ内容)	篠村 恭子	対面	6	30	3,000	授業デザイン
14	～6月22日(日)	8月 7日(木)	9:00～16:15	小学校社会科の授業デザインと教材開発	加藤 寿朗 和田 律央 仁宮 香	ハイフレックス	6	20	3,000	授業デザイン
15	～6月22日(日)	8月 8日(金)	9:00～16:15	地理を専門としない教員のための地理分野教材開発	作野 広和	対面	6	20	3,000	授業デザイン
16	～7月 6日(日)	8月18日(月)	9:00～16:15	国語科における文学的文章の「読みの交流」について考える	富安 慎吾	ハイフレックス	6	30	3,000	授業デザイン
17	～7月 6日(日)	8月20日(水)	9:00～16:15	中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップデート 会場:附属義務教育学校後期課程(技術室)	橋爪 一治 森下 博之	対面	6	15	3,000	授業デザイン
18	～7月 6日(日)	8月20日(水)	9:00～16:15	教育評価の新たな地平	深見 俊崇	ハイフレックス	6	30	3,000	授業デザイン
19	～7月 6日(日)	8月21日(木)	9:00～16:15	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践 (反復開講:⑬と同じ内容)	篠村 恭子	対面	6	30	3,000	授業デザイン
20	～7月13日(日)	8月26日(火)	9:00～16:15	図画工作科の授業と教材開発	川路 澄人	対面	6	20	3,000	授業デザイン
21	～10月19日(日)	12月 2日(火)午後	13:30～16:45	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり (小学校向け)	塩津 英樹	対面	3	15	1,500	授業デザイン

○生徒指導に主として関するもの

講座番号	申込期間	開講日	研修時刻	講座名	担当講師	実施形態	時間	定員	受講料(円)	プログラム指標(しまだい)
22	～5月11日(日)	6月24日(火)午後	13:30～16:45	今どきの思春期、今どきの保護者をどう理解するのか	岩宮 恵子	ハイフレックス	3	30	1,500	子ども支援 学校創造
23	～6月 8日(日)	7月25日(金)	9:00～12:15	いじめの早期発見・早期対応 ～小・中学校の事例を基に考える～	三島 修治 小村 俊美 原 市	対面	6	30	3,000	子ども支援 学校創造
24	～6月15日(日)	7月29日(火)午前	9:00～12:15	Q-U 調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方	川俣 理恵	ハイフレックス	3	30	1,500	子ども支援
25	～6月15日(日)	7月29日(火)午前	9:00～12:15	生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ	藤原 建 栢木 隆志	対面	3	30	1,500	子ども支援
26	～6月22日(日)	8月 6日(水)午前	9:00～12:15	支援につなげるための不登校理解 ～早期支援に焦点をあてて～	江角 周子	対面	3	25	1,500	子ども支援

27	～7月 6日(日)	8月21日(木)	9:00～ 16:15	いじめ・不登校等が起こりにくい 学級(学校)づくり ～実践事例から考える学校(教職員) がすべきこと・できること～	藤平 敦	ハイフ レックス	6	30	3,000	子ども支援 学校創造
28	～7月13日(日)	8月25日(月)	9:00～ 16:15	予防・開発的生徒指導 聴くことから始める人間関係づくり	高橋 智子	対面	6	20	3,000	子ども支援

○特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に主として関するもの

講座 番号	申込期間	開講日または 期間	研修 時刻	講座名	担当講師	実施 形態	時間	定員	受講料 (円)	プログラム指標 (しまだい)
29	～6月 1日(日)	7月18日(金) ～ 8月20日(水)	オンデ マンド	英語学習における学びの多様性と、 授業での工夫を考える (理論編)	大谷 みどり	オンデ マンド	4	30	2,000	子ども支援 授業デザイン
30	～6月15日(日)	7月28日(月) 午前	9:00～ 12:15	自立活動と個別の指導計画の 基礎・基本	藤川 雅人	対面	3	30	1,500	子ども支援
31	～6月22日(日)	8月 5日(火) 午前	9:00～ 12:15	子ども理解とかかわり ～特別支援教育の視点から～ ※会場:鳥取県教育センター (反復開講:㉓と同じ内容)	原 広治	対面	3	30	1,500	子ども支援
32	～6月22日(日)	8月 5日(火) 午後	13:30～ 16:45	障がいのあるお子さんを養育されている 保護者の「語り」からの学び ※会場:鳥取県教育センター (反復開講:㉔と同じ内容)	原 広治	対面	3	20	1,500	子ども支援
33	～6月22日(日)	8月 6日(水) 午後	13:30～ 16:45	UDLに基づく 小学校算数科の指導	御園 真史	ハイフ レックス	3	30	1,500	子ども支援 授業デザイン
34	～6月22日(日)	8月 7日(木)	9:00～ 16:15	アセスメントの重要性と 多機関連携の在り方	藤原 建 山澤 重美 岡崎 茂 宇城 明	対面	6	30	3,000	子ども支援
35	～7月 6日(日)	8月22日(金)	9:00～ 16:15	英語授業における様々な 学び方と支援の在り方 (㉔の内容を受講済みの方が対象)	大谷 みどり	対面	6	20	3,000	子ども支援 授業デザイン
36	～7月13日(日)	8月26日(火) 午前	9:00～ 12:15	発達障がいと愛着障がいのちが ～支援のためにできること～	稲垣 卓司	対面	3	30	1,500	子ども支援
37	～8月24日(日)	10月 9日(木) 午後	13:30～ 16:45	障がいのあるお子さんを養育されている 保護者の「語り」からの学び (反復開講:㉔と同じ内容)	原 広治	対面	3	20	1,500	子ども支援
38	～9月14日(日)	10月30日(木) 午後	13:30～ 16:45	子ども理解とかかわり ～特別支援教育の視点から～ (反復開講:㉔と同じ内容)	原 広治	ハイフ レックス	3	30	1,500	子ども支援

○ICT や情報・教育データの利活用に主として関するもの

講座 番号	申込期間	開講日	研修 時刻	講座名	担当講師	実施 形態	時間	定員	受講料 (円)	プログラム指標 (しまだい)
39	～6月22日(日)	8月 8日(金)	9:00～ 16:15	ICT 活用の可能性	深見 俊崇 御園 真史	ハイフ レックス	6	30	3,000	授業デザイン
40	～9月 7日(日)	10月24日(金) 午前	8:30～ 12:25	「教育×テクノロジー」で培う 「自ら学ぶ力」 ～自己調整学習を促進するために～	松田 岳士	Zoom	3.5	30	1,750	授業デザイン

・各講座の定員のうち、14～20 名程度は島根県・鳥取県の教育センターを通じて募集します。

3. 受講の流れ

受講申込みは、**申込フォームからのみ**受け付けています。電話や窓口等では受け付けていません。
予約から受講完了までの大まかな流れは以下のとおりです。

①講座の確認・選択（申込フォーム）

○教師教育研究センターHPの「講座一覧」から、受講したい講座を確認し
受講講座を決めてください。（シラバスで内容を確認してください。）

○下記のフォームから必要事項をご記入の上、
お申込みください。

<https://forms.office.com/r/A8f9dS2mWm>



大学 (crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp) からのメールが受信できるように設定をしてください。

②大学から
受講決定通知メール送付

③受講料振込み

②の受講決定通知メールを確認の上、受講が決定している講座の受講料を
振り込んでください。各金融機関窓口・ATM・インターネットバンキングから振込みが可能です。

受講料の振込先については、受講決定通知メールでご案内します。

④大学から
申込受付完了メール送付

入金の確認の後に、申込受付完了メールを送付します。研修1週間前までに各情報、資料等入手するためのパスワードをお知らせします。

⑤対面研修

（於 山陰教員研修センター
及び鳥取県教育センター）

○準備 事前課題・準備物
（ある場合のみ）、携行品等、
受講のための準備をお願いします。各講座のシラバスで
ご確認ください。

○受講

○研修課題・振り返りの提出、事後アンケートの記入・提出

⑤-1 非対面(オンデマンド及びYouTube Live 視聴, Zoom)研修

○準備 事前課題等、各講座のシラバスでご確認ください。

○動画視聴の為のURL、パスワード、研修の振り返り・事後アンケートの回答フォーム等のURL、講義資料の入手

- ・各講座の講義資料、YouTube・YouTube Live のURL、Zoom のミーティングID・パスワード等の情報は、教師教育研究センターHP から入手してください。
- ・オンデマンド研修はYouTube の配信日から受講できます。
- ・ハイフレックス研修のYouTube Live 配信は、研修実施日の09:00、13:30 から開始です。（アーカイブ; 動画配信日から3日間視聴できます。）
- ・Zoom での研修は、08:40、13:00 開始です。10 分前には入室してください。※ YouTube、Zoom 等、パソコン操作に関する質問は受けかねます。

5-2 研修課題、研修の振り返り、事後アンケートの入力・送信

※ 非対面研修（オンデマンド、YouTube Live 視聴、Zoom）の場合、受講後速やかに研修課題、振り返り、事後アンケート等を各**フォームで回答**してください。なお、オンデマンド研修を受講した場合はシラバス記載の返信締切日までにはお願いします。

⑥受講証明書 受理

※ 研修記録への記載については、必要に応じて任命権者（勤務する学校が所在する都道府県教育委員会）にご確認ください。

大学から
受講証明書を郵送します。

4. 申込み（フォーム）

島根大学「（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修」の受講申込みは、フォームからの予約のみ受け付けています。

（１）教師教育研究センターHP をよくご確認の上、下記フォームにて、お申込みください。

申込フォーム

<https://forms.office.com/r/A8f9dS2mWm>



（２）申込みが確認できましたら、登録されたメールアドレスに振込先情報を記載した「受講決定通知メール」をお送りします。そのメールを確認の上、受講料の振込みをお願いします。受講料入金の確認を経て受講確定となり、「申込受付完了メール」をお送りします。

メールアドレス

大学からのメールが受信できるアドレスを登録してください。（必要な連絡はお申込みの際に登録されたメールアドレスに送信します。）

アドレスを登録される際には、以下の送信元からのメールを受信できるように設定してください。

crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp

受講申込締切及び受講決定通知について

下記の申込締切日に申込情報を確認し、定員に達した時点で申込みを終了します。このため、申込期間内であっても定員に達した講座は申込みいただくことができませんので、早めに申込んでください。締切後、「受講決定通知日」までに「受講決定通知メール」をお送りします。その後、受講料振込締切日までに受講料の振込みをお願いします。

申込締切日	受講決定通知日	受講料振込締切日
第1回： 4月20日（日）	4月28日（月）	5月 5日（月）
第2回： 5月11日（日）	5月19日（月）	5月26日（月）
第3回： 6月 1日（日）	6月 9日（月）	6月16日（月）
第4回： 6月 8日（日）	6月16日（月）	6月23日（月）
第5回： 6月15日（日）	6月23日（月）	6月30日（月）
第6回： 6月22日（日）	6月30日（月）	7月 7日（月）
第7回： 7月 6日（日）	7月14日（月）	7月21日（月）
第8回： 7月13日（日）	7月22日（火）	7月28日（月）
第9回： 8月24日（日）	9月 1日（月）	9月 8日（月）
第10回： 9月 7日（日）	9月16日（火）	9月22日（月）
第11回： 9月14日（日）	9月22日（月）	9月29日（月）
第12回： 10月19日（日）	10月27日（月）	11月 3日（月）

5. 受講料

受講料は、「2. 講座の確認・選択」の講座一覧で示すとおりです。

金融機関窓口、ATM、インターネットバンキングのいずれかの方法で振り込んでください。

※別途で教材費など、一部、実費を負担していただくことがあります。

【振込みについて】

振込先については、受講決定通知メールでご案内します。受講決定メールを受け取ってから、振込み締切日までに受講料を振り込んでください。入金を確認ができましたら「申込受付完了メール」をお送りします。なお、支払期限までに振込が確認できない場合は、受講取消となりますのでご注意ください（締切厳守）。

※振込手数料は受講者負担になりますのでご了承ください。

※振込者名を入力する際、**受講者名を入力してください。**

（ご家族の口座等から入金される場合でも、必ず**受講する方の名前**を入れてください。）

※同時に複数の講座を申し込まれる場合、受講決定した講座分の合計金額を一括で振り込んでも支障ありません。

※**振込明細書は各自で必ず保管してください。**受講のキャンセルの際（返金を伴う場合）に必要となります。

※領収書は発行していませんので、ご了承ください。

※教育委員会等が受講料を負担する場合、事前に教育委員会等にご相談のうえ、振込手続きを行ってください。その際、**教育委員会等から直接振り込むのではなく**、受講者本人が振り込んでください。（受講キャンセルの際に、本学の会計手続きの関係上、個人口座へ返金するためです。）

6. 受講のキャンセル

申込みをした講座をキャンセルしたい場合は、教師教育研究センターホームページ「**しまだい学校教員研修**」内の「**受講のキャンセル**」でキャンセル方法を確認し、手続きを行ってください。

※受講料の返金については、**研修開催日前日までの申し出（キャンセルメール送信）に限り**ます。

当日以降の申し出については欠席扱いとなり、返金ができませんのでご注意ください。

なお、教材費等の返金については、1週間前までの申し出に限りま

【返金について】

返金を伴う受講のキャンセルをされた方には、返金に係る書類を郵送します。郵便物をこまめに確認してください。書類を受け取られましたら、送付期限日までに必要事項を記入・押印の上、振込明細書（コピー可）を添えて教師教育研究センターへ郵送してください。なお、書類に不備があった場合、申込フォームに入力された連絡先（職場・日中に連絡が取れる電話番号

号)に確認の連絡をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※返金の際の振込手数料は請求者の負担になります。

※必要書類受領後は、速やかに手続きをお願いします。

7. 合理的配慮を必要とする方の受講（対面研修を受講される場合）

受講に際して何らかの配慮が必要な方は、受講予約の際に申込フォームにご記入ください。必要な配慮について、具体的に記載願います。（確認のご連絡をする場合があります。）

8. 受講者の個人情報について

お預かりした受講者の個人情報については研修の実施及びこれに付随する業務を行うこと以外には一切使用しません。

9. 研修に向けての準備及び受講後について

研修形態によって異なりますので、ご自身が該当するページをご覧ください。

- ・【対面研修の場合】… P9 へ
- ・【非対面式研修の場合】
 - ◎オンデマンド（YouTube 視聴）… P11 へ
 - ◎ハイフレックスの YouTube Live 視聴 … P12 へ
 - ◎Zoom によるオンライン研修 … P13 へ

【対面研修の場合】

●シラバスの再確認（事前課題・持参準備物等）

事前課題や準備・持参いただくものがある講座もあります。

準備物を忘れた方への物品の貸し出し等はありませんので、必ず事前に確認し、必要に応じて受講のための準備を行ってください。

●研修会場について

研修会場は、島根大学教育学部附属山陰教員研修センター

（松江市大輪町 416-4 島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程内）です。（p.14 参照）

※島根大学構内ではありません。ご注意ください。

※一部、鳥取県教育センター等で実施する講座があります。

●受付

- ・一日、午前の講座は、08時40分から受付を行います。
- ・午後の講座は、13時10分から受付を行います。

●遅刻・早退・欠席

・当日の連絡先

当日の遅刻、欠席については受付時間の間に次の研修会場までご連絡ください。

研修会場：山陰教員研修センター（TEL0852-29-1207）

遅刻・早退の場合でも、受講証明書を交付できない場合がありますのでご注意ください。

また、当日の欠席申し出については、受講料を返金しません。

前日までにキャンセルの申し出（キャンセルメールの送信）があった場合は、受講料を返金します。詳細は「6. 受講のキャンセル」を確認の上、所定の手続きを行ってください。

●携行品

- （１）筆記用具，ノート等
- （２）研修に関して各自準備するもの ※記載がある場合
- （３）上履き（各自お持ちください。）
- （４）昼食（一日開催の研修のみ）

敷地内に食堂はありませんが、近隣に飲食店・コンビニエンスストアがあります。

なお、ゴミは各自でお持ち帰りください。

●会場の換気・熱中症及び温度調整対策について

当日、研修会場では定期的に換気を行います。換気扇の常時稼働だけでなく、窓や出入口を開放した状態にする場合もあります。各自、衣類等で調整願います。

また、熱中症などに特に注意し、水分補給ができるように、各自で準備してください。研修センター内に自動販売機はありません。

●その他

- ・研修会場（山陰教員研修センター）は、敷地内全面禁煙です。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードにしておいてください。
- ・貴重品の管理は、各自で行ってください。
- ・研修中は、島根大学担当者の指示にしたがって行動してください。
- ・宿泊を要する場合は、各自で手配してください。
- ・駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・その他、個人的に相談したいことがある場合は、島根大学担当者へ申し出てください。

（お願い） 8月6日（水），8月22日（金）は午前・午後と別々の講座があります。 このため、上記の日程の午前の研修を受講される方は終了後速やかに、駐車場から出庫願います。
また、上記の日程の午後の研修を受講される方は、13時以降に来場又は、駐車場への入庫をお願いします。

【非対面式研修の場合】

◎オンデマンド（YouTube 視聴）

●シラバスの再確認

事前課題や事前準備物がある講座，受講環境に指定のある講座があります。
必ず事前に確認し，必要に応じて受講準備を行ってください。

●パソコン等の設定準備

申込受付完了後，動画視聴等のための URL や研修に必要な情報，講義資料等を教師教育研究センターのホームページから入手するためのパスワードを，研修日の 1 週間前頃までにメールでお知らせします。

- ◆「英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編）」を受講の方へ
受講決定後「全国教員研修プラットフォーム『Plant』」から講義資料（受講ガイド）をダウンロードしてください。動画視聴のための URL は講義資料（受講ガイド）にあります。
※YouTube 再生方法等，パソコン操作に関する質問は受けかねます。

●研修の開始及び受講後

講義資料のダウンロードの後、YouTube の配信日から受講を開始できます。
受講後，8月20日（水）までに，以下のようにお願いします。

- ・研修課題は「全国教員研修プラットフォーム『Plant』」から回答してください。
- ・実施後アンケートは回答フォームに入力のうえ送信してください。

送信がない場合，受講を認定できません。

◎ハイフレックスの YouTube Live 視聴

●シラバスの再確認

事前課題や事前準備物がある講座，受講環境に指定のある講座があります。
必ず事前に確認し，必要に応じて受講準備を行ってください。

●パソコン等の設定準備

①申込受付完了後，動画視聴等のための URL や研修に必要な情報，講義資料等を教師教育研究センターのホームページから入手するためのパスワードを，研修日の 1 週間前頃までにメールでお知らせします。

②教師教育研究センターのホームページから以下のものを入手してください。

- ・動画視聴のための URL ・研修中の質問フォームの URL
- ・実施後アンケート回答フォームの URL, 研修課題提出用フォームの URL
- ・講義資料，研修課題入力用の書式等（ダウンロードしてください。）

●研修の開始

YouTube Live 視聴はその配信日に受講できます。配信日から 3 日間，講義動画をアーカイブに残しますので，期間内であれば動画を見直すこともできます。

●受付（配信日）

当日、YouTube Live 配信が始まったら、**研修中の質問フォームに「所属とお名前」を送信**してください。これを確認して当日の受付とします。

●遅刻・早退・欠席

当日の急な遅刻・早退・欠席の場合は、講義動画のアーカイブを視聴してください。

配信日前日までにキャンセルの申し出（**キャンセルメールの送信**）があった場合のみ，受講料を返金します。詳細は「6. 受講のキャンセル」を確認の上，所定の手続きを行ってください。

●受講後

受講後，速やかに，以下のようにお願いします。

- ・研修の課題・振り返り等は研修課題提出用フォームにファイルをアップロードしてください。
- ・事後アンケートは回答フォームに入力のうえ送信してください。

送信がない場合，受講を認定できません。

◎Zoomによるオンライン研修

Zoomに参加するためのパソコンをご用意ください。(マイク・カメラ内蔵のPC, 又はヘッドセット・Webカメラが必要です。)

タブレットやスマートフォンなどでも参加可能ですが、一部機能に制限がある場合や、操作が煩雑なる場合がありますので、本研修ではパソコンからの参加を推奨します。

※Zoomの操作方法等、パソコン操作に関する質問は受けかねます。

●シラバスの再確認

事前課題や事前準備物がある講座、受講環境に指定のある講座があります。

必ず事前に確認し、必要に応じて受講準備を行ってください。

●パソコン等の設定準備

①申込受付完了後、動画視聴等のためのURLや研修に必要な情報、講義資料等を教師教育研究センターのホームページから入手するためのパスワードを、研修日の1週間前頃までにメールでお知らせします。

②教師教育研究センターのホームページから以下のものを入手してください。

- ・Zoomに参加するためのURL、ミーティングID、パスコード
- ・実施後アンケートの回答フォームのURL、研修課題提出用フォームのURL
- ・講義資料、研修課題等（ダウンロードしてください。）

③Zoom操作の確認をしてください。

※参考 動画「初心者向け Zoomによるオンライン会議入門」をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=AuyNM5OUHyM>



●研修の開始

◆午前の研修は、08時30分から開始します。

10月 6日(月) 午前「教室空間におけるインクルージョン」

10月24日(金) 午前『教育×テクノロジー』で培う『自ら学ぶ力』

◆午後の研修は、12時50分から開始します。

8月 4日(月) 午後「教師の多様性を活かすための学校の変革とリーダーの役割」

10月 6日(月) 午後「学校教育における『多文化共生』」

※それぞれ10分前には入室してください。

●受付

当日、入室されたら Zoom でのお名前を【所属・氏名】に変更してください。これを確認して当日の受付とします。

●受講後

受講後、速やかに、以下のようにお願いします。

- ・研修課題・振り返り等は研修課題提出用フォームにファイルをアップロードしてください。
- ・事後アンケートは回答フォームに入力のうえ送信してください。

送信がない場合、受講を認定できません。

10. 研修の中止

悪天候，自然災害，感染症拡大，講師・会場都合などによりやむを得ず，研修の開催を変更，中止する場合があります。研修を中止する場合，当日午前7時00分までにご連絡します。

なお，研修自体が中止となった場合には，受講料を返金し，それに係る手数料も徴収しません。研修中止決定後の手続きについては，後日，教師教育研究センターからご連絡します。

11. 受講証明書の交付

受講者には，「受講証明書」を交付し，研修実施日から2ヶ月以内に普通郵便で送付します。送付先は，申込フォームに記入された連絡先（住所）です。登録されている住所が変更になった場合は，受講証明書が届かない可能性があるため必ず事前に届け出てください。受講証明書は，研修履歴に記録する際に必要になりますので，大切に保管してください。

なお，能力開発研修（島根県）・専門研修（鳥取県）として受講された方は，各県の教育委員会の研修履歴として記録されますので，受講証明書の交付はありません。

《問合せ・連絡先》

島根大学 教育学部 附属教師教育研究センター

WEB：<https://crte.shimane-u.ac.jp/>

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL：0852-32-6495 FAX：0852-32-9869

* 学校教員研修担当 平日9：00～17：00 *

E-Mail：crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp

会 場 案 内

※「島根大学附属義務教育学校前期課程」で検索してください。

※Yahoo 地図より作成



< 島根大学教育学部山陰教員研修センターへのアクセス >

<https://www.edu.shimane-u.ac.jp/satela/access.html>

